

令和2年度
学生生活実態調査
報告書
(学部・大学院)

令和3年3月



広島大学

はじめに

大学は優れた研究を基盤にした高等教育を行い、社会に貢献する有能な人材を育成する機関です。学生には講義や演習、実験実習、研究活動を行うことで、教養や専門における科学的な知識を学び、批判的そして発展的な思考をもって課題を見出し、解決する力を培うことができると期待されます。学生時代ならではの経験や挑戦を積んで社会を広く見る目を養うことや、生涯にわたって掛け替えのない友人を得ることは大事にしていきたいと思えます。

学生の皆さんには大学で多くのことを身につけていただきたいので、大学は学修、課外活動、生活、健康維持、センター等の利用などのために様々な支援を最大限に行っています。学修をしていくうえで、授業等に費やす時間が確保されていて、経済的にも適正な生活が送られることが望まれます。課外活動は自主性・協調性や視野の広がりを磨くとともに、学部等を越えた縦と横のつながりの友人を得ることにつながります。日常生活では事故や犯罪、被害、トラブルが無いように過ごすとともに、健康維持も大事です。学生の皆さんに、より健全な学生生活を送っていただくために、チューターを始めとする大学教職員の指導や助言は欠かせません。こうした指導のためには、学生生活の実態を把握し、問題があれば改善が必要です。

広島大学では、この種の調査を30年前の、1990年度と1993年度に実施していますが、本調査は2006年度を第1回として以降隔年で実施しています。当初は学部生だけを対象としていましたが、現在は学部、大学院、専攻科の学生を対象としています。これにより、全学の学生の実態を長年にわたって理解できる体制にあります。

本年度の学生生活実態調査のアンケートは全学の学部生、大学院生、専攻科学生を対象に、2021年1月15日から1月29日の間に行いました。調査は2018年度と同じく、SERU (Student Experience of Research University) と共同で行いました。SERUは、世界トップレベル大学によるコンソーシアムで、加盟した大学は同じ学生調査を実施しています。今回の調査方法は「Myもみじ」アンケート機能を使ったWebアンケートでした。アンケート項目は、学生生活実態の長年の変化を解析するため、2010年に学生生活会議(現 学生生活委員会)で設定されたものを引き継ぐとともに、2014年度から留学生も回答しやすいよう日英併記にしています。また、従来と同じように、回答率を上げるために、回答者に抽選でamazonギフト券や生協マネーをプレゼントしています。その結果、すべての学部と研究科の皆様にご協力いただき、回答状況は、学部生2,684人(25.2%)、大学院生(法務研究科と特別専攻科を含む)740人(16.5%)の合計3,424人(22.7%)と良好でした。

2020年当初から世界で新型コロナウイルス感染症の蔓延が始まり、我が国でも同年1月に感染症の発生が確認されました。2020年4月7日には国内の感染拡大地域を対象に、そして4月16日から5月14日まで広島県を含む全国を対象にした国の緊急事態宣言が発出され、さらに2021年1月には1都3県に緊急事態宣言が発令され、広島県は12月12日から翌年2月21日まで集中対策期間となりました。感染症が拡大して以来、市民は新生活様式を取り入れ、外出を控える等の感染予防の行動をとってきました。このような中で、広島大学でも、第1タームはオンライン授業とし、第2ターム以降に徐々に対面式授業をとりいれてきました。課外活動も活動計画を慎重に審査して許可していますが、全部の団体が活動できるには至っていません。こうした中で、新入生は友人と交流する機会も少なく、学生全体でも満足のできる生活を送れていないことが心配されてきました。今回の学生生活実態調査により、大学として、従来と同じ日常の学生生活実態の把握に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響下での生活実態にも注視して、当面の学生支援とポストコロナ時代での取り組むべき学生支援策に活かしたいと思えます。

令和3年3月

広島大学副学長(学生支援担当)

吉村 幸則

目 次

I 調査概要

1 調査期間, 調査対象, 調査方法	1
2 回答者の内訳	1

II 設問と回答分布

【学 部】

1 大学生活において大切にしているもの	3
2 学内のクラブ・サークル活動への参加	3
3 大学の行事への参加	4
4 ボランティアや地域活動への参加	4
5 アルバイト	5
6 大学構内での滞在時間・場所について	6
7 大学構内でくつろいで過ごせる場所	8
8 1ヶ月の生計費(収入・支出)	8
9 1週間の学習時間	12
10 所有もしくは占有している物	13
11 Social Network Serviceの使用状況について	14
12 犯罪やトラブルなどの被害経験	14
13 交通事故の経験	15
14 喫煙及び飲酒の習慣	15
15 薬物(大麻等・覚醒剤)や危険ドラッグ等について	16
16 授業以外の学生生活の充実度	17
17 授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス	17
18 学生生活の悩み	18
19 相談内容と相談窓口	18
20 現在の健康状態	21
21 身体面・心理面の悩み解消	21
22 友人との関係	22
23 教員との関係	22
24 学生交流スペースの利用	23
25 所属学部の学生支援室の対応	23
26 学生プラザの学生支援部門の対応	24
27 本学の教育・学習, 学生生活などの全体的な満足度	25
28 居住形態	25
29 通学方法	26

【大学院】

1	大学生活において大切にしているもの	27
2	学内のクラブ・サークル活動への参加	27
3	大学の行事への参加	28
4	ボランティアや地域活動への参加	28
5	アルバイト	29
6	大学構内での滞在時間・場所について	30
7	大学構内でくつろいで過ごせる場所	32
8	1ヶ月の生計費（収入・支出）	32
9	1週間の学習時間	36
10	所有もしくは占有している物	37
11	Social Network Service の使用状況について	38
12	犯罪やトラブルなどの被害経験	38
13	交通事故の経験	39
14	喫煙及び飲酒の習慣	39
15	薬物（大麻等・覚醒剤）や危険ドラッグ等について	40
16	授業以外の学生生活の充実度	41
17	授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス	41
18	学生生活の悩み	42
19	相談内容と相談窓口	42
20	現在の健康状態	45
21	身体面・心理面の悩み解消	45
22	友人との関係	46
23	教員との関係	46
24	学生交流スペースの利用	47
25	所属研究科の学生支援室の対応	47
26	学生プラザの学生支援部門の対応	48
27	本学の教育・学習，学生生活などの全体的な満足度	49
28	居住形態	49
29	通学方法	50
III	資料 学生生活実態調査アンケート項目（もみじ画面）	51